

# トピックス

2013年9月6日付の読売新聞「われら 楽しみ人」コーナーに「オンタイム」の活動が紹介されました。

2013年(平成25年)9月6日(金曜日)

一緒に歌い みんな元気

湖南地域を中心に活動するバンド「ミュージックセラピー・オンタイム」。

メンバーの演奏に合わせて、参加者が一緒に歌う歌声サロンを津市で毎月開催している。会場にあふれるほど人が集まる人気ぶりだ。

「これからも楽しく演奏して皆さんと歌っていききたい」と言う松江さん(前列中央)ら

を見ながら、参加者は「われら海の子」「んちほらちゃん」など4曲を1時間半、熱唱した。曲の合間には松江さんが曲にまつわるエピソードなどをユーモアを交えて話し、会場は笑いに包まれた。

友人と何人も参加しているという尾山鈴子さん(71) (同市西矢倉)は「ミュージックセラピーの人は、参加者も大きな声で歌い、和気あいあいな話術のとれた歌謡だ。うまさひかれて歌いに来たいです。こへ来ると、あしたも元気で頑張ろうと思う」と楽しんでいた。

6月にメンバーに加わったフルートの今枝直樹さん(68) (同市大野)は参加者だったが「音が楽しそうなので仲間に入れてもらいました」と笑顔になる。歌詞をスクリーンに映し出すなどの裏方を一手に引き受けるのは奥井徳栄さん(67) (守山市蒲原町)。

「バンドの西山邦雄さん(73) (栗東市穂)は「福祉施設などで会を開く参加者の表情が最初と最後で全く変わり、皆元気になる。喜ばしき人な人を引きつけるんだと思いました」と話す。

同サロンは毎月1回だったが、当初約40人だった参加者が回を重ねることに増え、時には100人以上で会場からあふれるほどだ。このため9月から毎月2回に増やした。地域の敬老会や幼稚園からの依頼も多く、9月は15か所に出かける。

「メンバーが仲良く楽しくやってくれば、参加する人も楽しく過ごせる。人に誘ってもらえるバンドでありたい」と松江さんは話している。

歌声サロンは毎月第1月・木曜日午後2時30分40分、同センター1で開催。参加費300円、一部を岩手県大槌町の復興支援に寄付する。申し込み不要。問い合わせは松江さん(090・1894・4188)へ。

歌声サロンで演奏するメンバー

2010年頃、趣味でギターを弾いていた松江雅以さん(65) (栗東市小野)が知人でギター好きの松井茂さん(68) (野洲市近江富士)と結成。依頼されて参加者が歌うイベントで演奏したところ、好評を博した。

「演奏を聞いてもらうだけでなく、参加者にも歌ってもらう方が喜ばれる」と感じたりは毎月1回、同市内で「歌声サロン」を開くようになった。現在のメンバーは7人。楽器もマンダリンやフルート、パーカッションなどバラエティー豊富だ。

レパートリーは童謡や唱歌、懐メロなど約150曲。

8月に津市立まちづくりセンター1 (津市西大野町)で開催された歌声サロンには約60人が参加した。演奏も多く、60、70歳代が中心で、演奏に合わせてスクリーンに映し出された歌詞

歌声サロン、月2回に 団員7人 楽器・曲目豊富

ミュージックセラピー・オンタイム♪

楽しみ人